

のおがた 議会だより

1 2 月 定 例 会

- ◆督促手数料廃止に伴う関連議案を可決
- ◆令和3年度直方市一般会計補正予算を可決



▲ 11月21日、河川敷の景観と長大なウォーターフロントコースが魅力の直方北九州自転車道を舞台に、「LOVE CYCLING のおがた 2021」が開催され、多くのサイクリストが参加されました。

主 な 内 容

- P. 2 提出議案とその結果
賛否の分かれた議案
- P. 3～ 質 疑
委員会の審査
- P. 4～ 一般質問
- P. 9 委員会の活動

市 議 会 情 報

直方市議会



△「直方市議会」で検索



△直方市議会ホームページ
はこちらをCHECK

本 会 議 情 報

一般質問や質疑等の詳細については、録画配信または会議録を御覧ください。
録画配信は、議会が開催された日の約1週間後に公開します。また会議録は、次の定例会の約1週間前に公開します。

12月定例会に提出された議案等とその結果

【条 例】 ※全て原案可決

- 議案第 77 号 直方市税条例の一部を改正する条例について
- 議案第 78 号 直方市介護保険条例の一部を改正する条例について
- 議案第 79 号 直方市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について
- 議案第 80 号 直方市国民健康保険条例の一部を改正する条例について
- 議案第 81 号 直方市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例について
- 議案第 82 号 直方市小学校就学前子どものための教育・保育の実施に関する条例の一部を改正する条例について
- 議案第 83 号 直方市道路占用料条例の一部を改正する条例について
- 議案第 84 号 筑豊広域都市計画下水道事業受益者負担に関する条例等の一部を改正する条例について

【予 算】 ※全て原案可決

- 議案第 91 号 令和 3 年度直方市一般会計補正予算（第 8 号）
- 議案第 92 号 令和 3 年度直方市国民健康保険特別会計補正予算（第 3 号）
- 議案第 93 号 令和 3 年度直方市介護保険特別会計補正予算（第 2 号）
- 議案第 94 号 令和 3 年度直方市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）
- 議案第 95 号 令和 3 年度直方市水道事業会計補正予算（第 2 号）
- 議案第 96 号 令和 3 年度直方市下水道事業会計補正予算（第 1 号）
- 議案第 97 号 令和 3 年度直方市一般会計補正予算（第 9 号）

【人 事】 ※全て原案同意

- 議案第 88 号 直方市教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて
- 議案第 89 号 直方市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
- 議案第 90 号 直方市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて

【その他】 ※全て原案可決

- 議案第 85 号 福智山ろく花公園指定管理者の指定について
- 議案第 86 号 市道路線の認定について
- 議案第 87 号 市道路線の変更について

【報 告】 ※報告

- 報告第 16 号 専決処分事項の報告について（市営住宅家賃滞納に係る民事調停）

賛否の分かれた議案

※その他の結果については、全会一致で賛成となっています。

会派名	静 燃 会		よ つ ば			政 風 会		明 政 会		日本共産党		市民クラブ		公 明 党		無所属	令 和 会			
議員名 議案番号	安永浩之	三根広次	篠原正之	森本裕次	中西省三	渡辺幸一	田代文也	野下昭宣	佐藤信勝	那須和也	渡辺和幸	澄田和昭	高宮誠	紫村博之	宮園祐美子	渡辺克也	矢野富士雄	村田明子	松田昇	
第 91 号	○	○	○	○	—	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：賛成、×：反対、欠：欠席

—：議長には賛成・反対の意思表示をする表決権がありませんが、賛成・反対が同数になった場合、可否を決める裁決権があります。

質疑



▲ 12月6日質疑

12月定例会で質疑が行われた議案については次のとおりです。質疑とは、本会議の議事手続きにおいて討論や表決に入る前に、当該案件について口頭で提案者に対して説明や所見を求め疑問点を尋ねることです。

議案番号	議案名	発言者	質疑項目
第85号	福智山ろく花公園指定管理者の指定について	那須 和也	指定管理者についてほか
第91号	令和3年度直方市一般会計補正予算（第8号）	那須 和也	【歳出】出張窓口マイナンバーカード申請業務委託料ほか
		安永 浩之	【歳出】新型コロナウイルスワクチン接種対策費
		渡辺 和幸	【歳出】河川総務費ほか
第97号	令和3年度直方市一般会計補正予算（第9号）	渡辺 和幸	【歳入】全般 【歳出】子育て世帯等臨時特別支援給付金
		那須 和也	【歳出】人材派遣業務委託料

各常任委員会

12月7日に開催され、付託された議案について審査した主な内容です。

総務常任委員会

直方市税条例の一部を改正する条例について

委員から督促手数料を廃止すること、職員の事務軽減を図ったのではないかと尋ねました。

所管課からは、今回の目的は督促手数料を廃止すること、徴収を担当する金融機関の窓口負担の軽減や納付書の使用有効期限を長期化することが可能となり、コンビニエンスストア等での納付可能期間を拡大させて、納税者の利便性向上を図ろうとするものであり、職員の事務軽減が目的ではないこと、また督促状の送付や延滞金の徴収については法的義務であるため継続して実施していくとの答弁がありました。

採決の結果、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

令和3年度直方市一般会計補正予算（第8号）のうち所管分について

まず、コミュニティ助成事業助成金について、その事業内容及び年間の応募数について尋ねました

所管課からは、一般財団法人自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業として、コミュニティ活動に必要な備品や集会施設の整備等に対して助成を行う事業である。全国の自治体へ募集があり、今年度は4件の申込みがあったとの答弁がありました。

次に今回の対象である鴨生田団地自治区公民館の備品購入費用の内容及び目的、また購入後の報告義務について尋ねました。

所管課からは、対象の備品は地域活動を目的として、ノートパソコンやデジタルカメラ、デジタル印刷機等を購入予定であり、購入後は、備品台帳の作成や宝くじの広報表示のためのシール貼付等を実施し、最終的に写真を添えて実績報告を行うとの答弁がありました。

採決の結果、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

教育民生常任委員会

令和3年度直方市一般会計補正予算（第8号）のうち所管分について

まず小・中学校の給食に関わる事業について、中学校の全員喫食開始に向けて予定どおり進んでいるのか、新たな課題等はあるのかを尋ねました。

所管課からは、現時点では大きな問題はなく順調に進んでいる、課題についてはアレルギーマスクの対応についてや大規模校における給食の配送についてはまだ検討が必要であるとの回答がありました。

次に、新型コロナウイルスの3回目のワクチン接種について、接種の順番は前回の接種順に関わらず先に接種すべき施設を検討する余地があるのかを尋ねました。

所管課からは、8か月経過後の接種を基本に考えるのと前回の接種の順番になると思われるが、国が前倒しする方向であれば、8か月にこだわらず医療従事者、高齢者の施設、特にクラスターが心配される施設については少しでも早めに始め

たいとの回答がありました。

委員会としては、接種の順番については柔軟な対応をし、正確な情報を適切に市民に伝えてスムーズな接種に努めるよう要望しました。

また、出張窓口マイナンバーカード申請業務委託料については、どのようなところに委託するのか尋ねました。

所管課からは、マイナンバーカードの交付実績のある事業者を考えているとの回答がありました。

採決の結果、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

産業建設常任委員会

令和3年度直方市一般会計補正予算(第8号)のうち所管分について

まず、施設等修繕料のうち頓野汚水処理場について、そもそも頓野団地が造成されてからかなりの期間が経過しており老朽化が進んでいる中で、故障のたびに修繕を行っているようですが、当該団地の全体的な見直しといった検討や県への要望等といった活動を行っ

ているのか尋ねました。

所管課からは、下水道のルートの見直しなどは検討が必要ではないかと考えているが、県への要望活動などは行っていないとの答弁がありました。

委員会からは、毎年修繕料がかさみ今後さらに厳しい状況になるのではないかとといった意見があり、委員会としては、上下水道・環境部と産業建設部が一体となつて内部で調整を行い、当該団地建替え等の抜本的な課題解決に向けて県への要望活動等を検討してほしいと要望しました。

次に、工業振興費に計上されている会計年度任用職員の人件費について、この職員がどのような業務を行うのか尋ねました。

所管課からは、直方・鞍手新産業団地の用地関連業務の事務補助を行うとの答弁がありました。

委員会としては、当該事業の用地買収について期限内にきちんと終わられるよう、新年度以降は用地業務の専門性を備えた人員配置と組織づくりをやつていくよう要望しました。

採決の結果、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

一般質問



▲一般質問 (YouTube) はこちらを @HUE@K

12月定例会の一般質問は、11月29日から12月2日までの4日間行われ、14名の議員が市政について質問しました。一般質問は、議案と関係なく市政全般にわたり執行機関に対して執行状況や将来に対する方針などについて所信を尋ねたり、報告、説明を求めるものです。

矢野富士雄 議員



質問 消防団員、分団への市の処遇について

全国の団員数は毎年減少している。火災や災害はいつどこで発生するか分からず団員は365日即応しなければならず精神的・肉体的に大変であり、その苦勞に報いるだけの処遇はなおざりになっている。消防庁から改善についての通知も出されているが市の団員への処遇改善について問う。

答弁 消防団は地域の安全・安心を守る役割を担っており、処遇改善として報酬(年額)等を国が示す地方交付税算入額に基づき引き上げてきた。今回の通知は、出勤報酬の創設及び支給基準の策定等新たな措置が必要なため、団員の業務の負荷等を勘案し、理解の得られるよう取り組んでいきたい。

村田明子 議員



質問 天神橋架け替えの進捗状況について

天神橋架け替えについて、植木上中地区住民に対する意見交換会が実施されたが、その経過と今後の地域住民、市、県との協議の進め方、計画を問う。

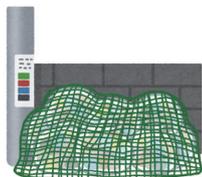
答弁 現在、県で素案作成が行われている。本市では、取付道路に影響する住民の方々から道路形状に係る意見や要望を伺っており、頂いた意見等を素案に反映するよう県にお願いしていきたい。本市としては、素案の見直し後に、都市計画の変更を含めた住民説明会を開催したいと考えている。



質問 一般家庭ごみステーションの現状について

一般家庭ごみステーションの現状と、本市が捉えている問題点、それに対し実施している対応策、また今後について問う。

答弁 市内のごみステーションは、約4300か所あり地域で管理を行っている。ごみの散乱などの相談に応じた対応を行っているが、今後の取り組みとしては「直方市なるほどごみ資源ブック」の活用など家庭から排出される段階からの注意喚起を促し、迅速な対応が取れる体制を整えたい。



那須和也 議員



質問 いこいの村の今後について

これまで本市が所有し宿泊・研修等で市民や多くの方が利用してきたが、運営会社「株式会社直方」が倒産・廃業し、9月29日をもって閉鎖となった。今後、現在の建物を活用するのか、展望を本市としてどう考えるのかを問う。

答弁 いこいの村は、築44年が経過し施設の老朽化が進んでいる。また、コロナ禍の中で、宿泊業の形態も大きく変わっていることから施設は廃止する。今後は、施設を解体し、更地にする。なお、今後の利活用の方針は、更地にするまで2年間程度必要になることから、その間に方向性を検討したい。

宮園祐美子 議員



質問 子育て環境について

子供たちの安全対策の重要性について、幼・保育園、学校等に対して苦情がある場合どこに相談したらいいのか。また、子供を抱えながらの移動は困難であるため、子育ての行政サービスを受ける際スムーズに移動できる導線が大切だと感じるが本市の今後の展望を問う。

答弁 通学路の安全対策は、登下校の見守りや交通安全プログラムで対応している。幼稚園等の送迎バスは、園が作成しているマニュアルに沿って運用している。保護者からの相談は、基本的には各園や学校が受け付けるが、他の機関でも対応は可能である。子育て関連施設の導線整備は困難な課題であるが努力していく。

質問 住宅確保要配慮者の居住支援について

3月定例会の際も質問を行ったが、その後の進捗状況や関連する部や課の連携について、また現在の状況把握と対応や、今後の対策・取組について問う。

答弁 住宅確保要配慮者の居住支援は、対応窓口や方法が多岐に及ぶことから、速やかな案内を目指し関係課の情報共有に努めている。また居住支援協議会との情報交換と会合への参加を表明している。今後も事例研究や情報共有に努め、態勢の強化に取り組んでいきたい。



野下昭宣 議員



質問 市長の政治姿勢について（令和2年度の決算総括の本意について）

市長は決算議会総括で、都市像について未だ決まっていないと前置きし、職員の政策能力の向上、職場環境改善を呼びかけた。私的に解釈すれば「井の中の蛙であってはならない」「外の風にあたり、新しい空気を吸って」という体質改善を求めたものと解すが、改めて本意を問う。

答弁 人が地域を創るのであり、まちづくりには行政職員の人材育成は欠かせない。職員には物事を自分事として考えることに足りない部分があり、つくづく人材育成の難しさを感じた。政策立案には現場の視点が必要であり、人材育成を起点とする政策立案が重要だと考えている。



質問 外郭団体と行政の関係について、インフラ整備について

N・bizセンター長及び市長自らが連れてこられた観光協会の事務局長が辞意を表明、前任の事務局長も辞職し異常である。掛け替えのない人材を失うことは看過できない。その責任の所在と、今後の対策及び遅れている勘六橋延伸工事の早期完成を目指し前倒し予算を付けられないか、見解を問う。

答弁 N・biz及び観光協会については、何が問題でそのような事態となったのか、その背景も含め、実情に照らしてしっかり検証を行いたい。勘六橋については、県に対し、用地取得の加速化など、早期整備に向けた様々な要望を行い、事業計画年次の前倒しが可能なのか協議したい。

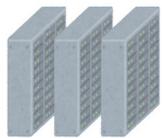
森本裕次 議員



質問 空き家対策とまちづくりについて

「空き家等対策の推進に関する特別措置法」施行、「空き家活用サポートセンター」開設、「空き家等対策計画」策定、「解体撤去費補助金」の運用開始。国・県・市で様々な施策が始まったが空き家は増加の一途。そこにどのような問題があり、解決するに当たり行政と市民の役割とは何なのかを問う。

答弁 住民はコミュニティ内で相談できるような体制を構築し、市と連携して所有者に対し相談・助言・提案を行っていただきたい。本市としては、空き家所有者に対して「イエカツ」「空き家バンク」等の情報提供を行い、空き家の利活用促進を行うことで空き家の減少につなげていきたい。



質問 直方・鞍手新産業団地（植木メカトロビジネスタウン）整備状況と企業誘致について

基本計画から約30年。ついに動き始めた植木メカトロビジネスタウン（直方・鞍手新産業団地）。九州自動車道や自動車産業群から連携可能なこの優良地開発は本市の将来に大いなる活力をもたらす。団地造成や企業誘致をも担う国・県に感謝し、本市が行うべき役割、受け入れ態勢について問う。

答弁 本市の長年の計画であった植木地区の産業団地造成について、令和7年度の完成を目標に、まずは地権者に対して事業実施への理解と協力を取り付けている。地方に拠点化が検討されているデータセンターが当該地区に整備されるよう、県と鞍手町と密に連携して取り組んで参りたい。

渡辺克也 議員

質問 竜王峡キャンプ村の運営について

竜王峡キャンプ村は、指定管理者制度に基づき、竜王峡運営協議会が低料金で運営してきたが、この運営が危機的状況に陥っている。県は令和2年度から大人も子供も一泊200円の宿泊税を導入した。大人10人程度宿泊できる東屋は2800円で利用できたが、宿泊税により2000円アップになる。子供だと15人泊まれるので、利用料より税の方が大きくなってしまう。県と協議して宿泊税の対象外としないか問う。

答弁 利用料金と税制は全く別の制度であり区別して考えなければならぬが、利用人数次第では、宿泊税が利用料金と同等程度もしくは超えてしまうことは、実際に起こり得る。条例は、3年経過後に必要に応じて所要の措置を講ずるとされているので、そのような状況を伝えてまいりたい。

篠原正之 議員



質問 アライグマを含む外来生物法に基づく特定外来生物への市の認識及び防除を含む今後の対策について

11月13日、新聞やWeb等でアライグマ被害を受けた市民への行政の対応が問われていた。農林水産省、環境省がアライグマについては、特定外来生物に指定している。本市として今後の被害拡大防止について、広報や防除等どのように取り組んでいくのかを問う。

答弁 特定外来生物に指定されているアライグマについては、農作物被害や繁殖防止の観点から防除が必要な生物であると認識している。その生態や危険性について広報するとともに、捕獲後の殺処分については、市民の皆さんの負担を軽減し、アライグマには極力苦痛を与えない方法を検討する。

安永浩之 議員



質問 コロナワクチン接種について

独自のワクチン接種証明に関して、東京都や民間が独自のシステムを開発する中、デジタル化を掲げる本市が今後どのような対応を行うのか質問し、意見提起する。

答弁 デジタル接種証明の取組は、本市独自では進めておらず、国のシステム開発を待っている。国のシステムは、マイナンバーカードが必要であるため未取得者向けに紙による証明書の発行も続ける。

質問 抗ウイルススコアリング業務委託について

前議会で補正予算として提案された抗ウイルススコアリング業務委託に関して、

再検証した結果を質問し、今後の対応について意見提起する。

答弁 抗ウイルススコアリングについては、複数年継続するエビデンスが明らかでないことから、9月定例会にて補正計上した予算は未執行とし、今後は国の研究機関等と実証実験を行うっていく。

質問 遠賀川河川敷の利活用について

九州随一の広さを誇る遠賀川河川敷に関して、スケートボード場の整備や自転車道の利活用について確認し、各種イベントへの本市の支援状況について尋ね、意見提起する。

答弁 スケートボード場整備は、筑豊地域での団体設立に向けた動きや周辺地域での取組みを注視し関係者と協議をしたい。自転車道や河川敷では数多くのイベントが催されており、感染状況等を鑑み支援を行っている。

紫村博之 議員



質問 自殺予防対策と市内事業者に対する支援について

コロナ禍により自殺者が全国で増加している。今年上半年の累計自殺者数は1万784人で前年より1206人増えた。そこで本市の自殺予防対策について問う。また、新型コロナウイルスの感染拡大により、経営上の影響を受けている事業者に対する支援について問う。

答弁 本市では、自殺防止対策として、県の健康相談窓口や、24時間対応の自殺予防のホットラインと連携して対応している。学校では、SOSの出し方教育やHSC（人一倍繊細な子ども）の心のケア等の支援を充実していく。事業者には、支援金や消費活動促進事業を実施している。

澄田和昭 議員



質問 「GIGAスクール構想」今日までの進捗状況と問題点について

GIGAスクール構想のメリット・デメリットについては、特にデメリットについては、①SNSの危険性②タブレット破損の責任③Wi-Fiの設置費用の負担④教師の仕事の負担増等が上げられる。これらの問題について問う。

答弁 GIGAスクール構想を進めていく中で、タブレットの持ち帰りの際のセキュリティや破損、通信環境等、整理しなければならぬ問題があり、それぞれに対応している。また、ICT支援員の活用や教育委員会主催の研修会の実施により教職員の負担軽減に努める。

質問 「ハートフル奨学金」
大学・短大・専門学校等にも使える新制度の創設について

文部科学省によると2020年に卒業した高校生のうち55.4%が大学・短大・専門学校に進学することが明らかになった。学びたい者が不安なしに、不足なく学べるため国や自治体は効果のある奨学金制度が必要と考える。これらに対応するため、ハートフル奨学金制度の新設を求める。

答弁 現在高校生に対し給付型の奨学金を実施しているが、大学生までを対象とする奨学金の新設は難しい。昨年度創設された日本学生支援機構の給付型奨学金は、条件が以前より緩和されるなど利用しやすい内容となっており、今後はハートフル奨学金を受給している生徒などに積極的に周知したい。

高宮 誠 議員



質問 直方市における教育について

本市の子育て・教育に関して、今何を目指し、今後どのような方向性を持つて行われるのか、そして、その課題について問う。また、これまでの子育て・教育予算を振り返るとともに、今後の子育て・教育予算をどのように考えるのかも併せて問う。

答弁 学力向上の方策として、タブレット等を活用した学習や陰山メソッドを取り入れた徹底反復学習を実施している。課題もあるが、実施することにより学習効果が高まり学力アップにつながるかと期待している。また、9年間を見据えた小中一貫教育も取組の成果が出ており、今後も継続していく。

渡辺和幸 議員



質問 直方市の公文書管理の現状と課題について

この間、様々な政治問題で公文書が捨てられたり、改ざんされたことが大問題となり、公文書管理への関心が高まっている。民主主義にとつての重要性と公文書管理条例制定の必要性を問う。

答弁 公文書の管理については直方市文書規程により管理している。現状を考えると、まずは事務処理について細かく規定する文書規程のより一層の適正化及び効率化を図っていく。

質問 直方市の情報公開制度の現状と課題について

公文書管理とともに情報公開制度は民主主義を支える屋台骨である。市の情報公開条例の現状と課題、そ

して、非公開や不存在の減少に向けた組織としての取組などを問う。

答弁 情報公開を推進する一方で個人、法人等に関する情報を保護する責務がある。公文書は市民との共有財産であることを職員が認識し、本市としても情報公開制度を推進していく必要があると考えている。

質問 認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）について

認知症の人の意思が尊重され、住み慣れた地域で暮らしていける社会実現のためオレンジプランが策定され、改定を重ねてきた。この内容と評価、さらに、市独自の認知症対策プラン策定を問う。

答弁 国の認知症施策推進総合戦略は、本人や家族の視点を重視し策定された。本市でも国が示した総合戦略等を踏まえ第8期高齢者保健福祉計画等を策定しており、認知症対策に継続して取り組んでいく。

渡辺幸一 議員



質問 直方市の介護保険の現状と高齢者に関する計画について

第7期の基本理念「地域でささえあう高齢者が健康で安心して暮らせるまちづくり」を高齢者福祉・介護保険関連施策を進める中で、介護の認定状況、給付費、保険制度の運営、高齢者になる前の施策等を考えて第7期計画の評価すべき点と残った課題について第8期計画において反映を問う。

答弁 後期高齢者の人口は今後も増加することから、サービスの増加と給付費の増加が見込まれる。将来に渡りサービスの提供が無理なく継続され、また質の低下とならないよう、併せて本人負担が大きくなるらないための各種施策や健康寿命延伸に向けた取組を実施していく。

総務常任委員会

産業建設常任委員会

教育民生常任委員会

委員会の活動

議会では、調査・研究のため常任委員会による先進自治体や関係機関への行政視察、懇談会、勉強会などを随時行っています。今回は産業建設常任委員会の活動について紹介します。

産業建設常任委員会

植木メカトロビジネススタ
ウン（直方・鞍手新産業
団地予定地）について

令和3年11月15日、産業建設常任委員会は、植木メカトロビジネススタウン（直方・鞍手新産業団地予定地）（以下「新産業団地」という。）について現地確認に行きました。現地を見学後、直轄産業振興センター別館の会議室に移動して、商工観光課と国・県対策課から、これまでの経緯や今後の予定などの説明を受けました。



新産業団地は、直方市総合計画、直方市国土利用計画及び第5次鞍手町総合計画後期基本計画に整備が位置づけられ、九州自動車道鞍手インターチェンジに近接している直方市の植木地区及び鞍手町中山地区における交通便利性を生かした工業団地として、直方市、鞍手町が共同で整備を検討している団地です。

国は、6月に策定した新たな成長戦略にあるとおり、国の経済安全保障の観点から、データセンターの拠点整備を国家事業として取り組むという動きがあります。

福岡市と北九州市の中間に位置するこの直方市植木・鞍手町中山地域は、精密加工技術の集積や半導体関連企業の立地はもちろんですが、データセンターの立地としても有力な候補地となると考えられ、この地域の企業誘致に対するポテンシャルが更に高まっています。



市ではこれまで、鞍手町との行政界をまたぐ開発区域面積23ヘクタールの計画案を基に、県や鞍手町などの関係部署と調整を進めてきました。

8月17日には、植木校区自治区公民館長会議において、市として正式にこの計画を進めていく旨の地元説明をしています。

その後、8月27日に福岡県知事に対し、また9月3日に福岡県議会に対し、県事業として整備するよう要望活動を行いました。

その結果、9月16日の福岡県議会9月議会で、知事から、県として直方市及び鞍手町からの要望を踏まえ早期の整備に向け検討を進めると前向きな答弁があり

ました。
今後のスケジュールとしては、まずは庁内における体制を確保し、その後は地元住民及び土地所有者に対する事業説明及び現地測量の承諾の取り付け、また造成事業に関する基本協定を本市と鞍手町及び県の3者で締結する予定になっています。

このほか、団地内及びその周辺の都市計画道路についても説明があり、最後に産業建設常任委員長から、今後も進捗状況に進展があれば改めて報告をしてもらうようお願いして説明会を終えました。



インターネット配信ぜひ御覧ください！



直方市議会 議会中継



▲「直方市公式ホームページ
市議会インターネット中継」

↓
ご希望の内容を選択
↓
見たい動画を再生



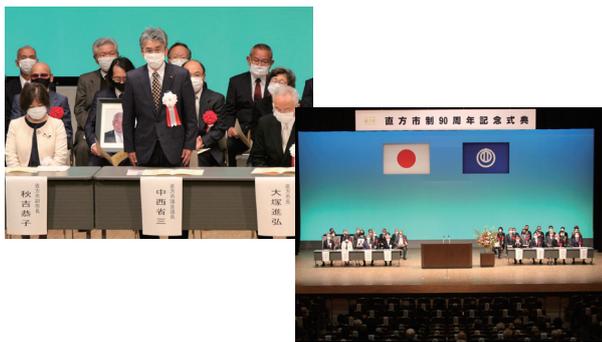
▲ 議会中継・録画配信
(YouTube) はこちら

市制90周年

記念式典へ参加

本市が昭和6年に市制を施行し、令和3年で90周年を迎えたことに伴い、11月6日、ユメニテイのおがたで市制90周年記念式典が開催されました。

当日は中西議長をはじめ、16名の議員が参加し、記念講演では持続可能なまちづくりや地域企業のサステナビリティについて話がありました。



北小3年生

議場を見学

直方北小学校の3年生(65名)が社会科学習の一環として、11月12日本市議会の議場を見学しました。

市議会の仕組みや役割、議場内の設備等について説明を受けたあと、実際に議長席などに座って、議長役の児童が質問を行い、執行部役や議員役の児童が答弁するなど、本番と同様に議会の流れを体験しました。



水仙

水仙が咲き始め、卒業が近づき季節となりました。令和3年度もコロナで始まりコロナで終わろうとしています。部活動の再開や懇親会が可能となり、徐々に日常を取り戻してきました。

今後は本市が持続可能な自治体になるため、直方・鞍手新産業団地造成など、さらに成長の施策を打っていかねればなりません。

一方、コロナ禍、見舞いも行けず病院で一人さみしく亡くなられた方、長年、子供の成長を見つめ、ご家族の支えと忘れていた方を忘れてはいけません。

私もはこの方々のためにも本市が誇れる街へと成長するよう努力します。

今号から編集委員の
日々のエピソードや気づき
など、テーマは自由に
毎号コラムを掲載いたし
ます。お楽しみに！



令和4年3月定例会予定

- | | |
|----------|----------|
| 2月18日(金) | 提案説明 |
| 19日(土) | 休会(休日) |
| 20日(日) | 休会(休日) |
| 21日(月) | 一般質問 |
| 22日(火) | 一般質問 |
| 23日(水) | 休会(休日) |
| 24日(木) | 一般質問 |
| 25日(金) | 一般質問 |
| 26日(土) | 休会(休日) |
| 27日(日) | 休会(休日) |
| 28日(月) | 休会(議案審査) |
| 3月1日(火) | 質疑 |
| 2日(水) | 休会(議案審査) |
| 3日(木) | 質疑 |
| 4日(金) | 委員会 |
| 5日(土) | 休会(休日) |
| 6日(日) | 休会(休日) |
| 7日(月) | 委員会 |
| 8日(火) | 委員会 |
| 9日(水) | 委員会 |
| 10日(木) | 採決 |

・本会議、各常任委員会の開議は、午前10時からです。
・日程、開議時間は変更される場合がありますので、詳しくは議会事務局までお問い合わせください。